

日本の国家目標

国家戦略（ビジョン）が政権与党にあるのか。いったいアメリカ（オバマ）を凌ぐ目標が日本にはあるのでしょうか。政治家が劣化したのではなく私達が劣化したのです。これから国民は何を選択し何を守り何を変えるのか。政治家や官僚に全権委任ではなく私、国民各人がビジョン、明確な目標を持っているかが真剣に問われています。

売国政策。当時そこまで洞察していたのはごく少数の者であった。平成の歴史に名を残す天才詐欺師です。

国家詐欺を世間に知らしめた者は、確実に拘置所行きになっていきます。

没落国家に追従し、ポチで生きるより、他の核国家に尾をフルのが国益ではないか。それとも核を自己開発（5年）、それはあらゆる手段を講じ絶対に美国（保有国）は許さない。

財務官僚や与党政治家から流布される財政破綻が国を滅すのではない。

国を滅ぼすのは外面的な要因でなく、人間の心の中、社会の風潮によって滅びるのである。人の心、活力が枯渇したときに滅びるのです。

そもそも国力と繁栄の基礎は、国民一人ひとりの精神から発するものです。国家と個人、個性の関わりの中に重要なカードキーがあります。発想と思考と態度の「精神的要素」は、どんな小さな会



社も全く同じく重要です。道義感覚の欠損からくる、気骨、品性の衰退、自らで立つ「気概」を失い、嘘と裏切りの「代表」の末路は想像に難くないのです。

我が国千五百年の伝統文化の遺伝子を引継、消滅はしていません。国内経済が低迷し、不満が鬱積されると、安価な手段として歴史やナショナリズムが動員されやすいものです。

今私達の心で、失われてきているものに「想像力」があります。この社会は、毎日百人を超える自殺者が11年も続いている特異な社会であります。我が冤罪国家では「メディアと政治」は不可分の関係です。捏造は日常的、現場は当初のシナリオに向け最初から証拠を収集します。そして

司法と税務署

刑事事件において「疑わしくは被告人の利益に」「有罪に合理的な疑いがあれば無罪が鉄則でしたが、踏みこじられてきています。

税務行政でも警察権力と同じ様を呈しています。

調査では最初に想定した金額を遂行するため、不都合な事実を排除し推計。所得を捏造（偽装）することに、何の呵責もない職員。謙虚に納税者の主張に耳を傾け、真実を極めようとする基本的な姿勢が現場には全く感じられないのです。

集団で主権者に対する奢り、体質、事実と証拠に従わず、失に走る口先だけの「先生」が増えています。

普通、事実を歪曲し殆どが嘘の悪意ある「噂」や、ひとつの情報が簡単に人間関係を悪化させるものです。人類の歴史は不条理、理不尽が常です。静かに向き合い、強い意志でいかなる試験をも克服しましょう。

税務行政の色眼鏡思考を目の当たりになりました。「疑わしくは主宰の利益に」「正義」は幻想です。社保庁を笑えませんか。これほどの劣化は以前では全く考えられない局面です。税務署と現場のため、いかなる妨害があるかと屈せず、行政の信頼ためその時、不退転を固く心に誓ったものです。これだけ見ても国家公務員の急激な劣化現象が現実なわけで、増してや上級機関を私は想像したくない。組織は「頭」から腐るので、低級な現場は私達が低級Bだからです。これが敗戦以来の国家衰退の凄まじい実態なのであります。

想像力

メディアにリーク、世論を誘導します。従って世間に流布されている情報に重大な誤りが無数含まれています。

不自然、出来すぎ、何か変、おかしい、虫の知らせ等の感覚は私達にとっても大切なのです。また権力に迎合し利害得

失に走る口先だけの「先生」が増えています。普通、事実を歪曲し殆どが嘘の悪意ある「噂」や、ひとつの情報が簡単に人間関係を悪化させるものです。人類の歴史は不条理、理不尽が常です。静かに向き合い、強い意志でいかなる試験をも克服しましょう。難難（かんなん）汝（なんじ）を玉にす。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2009年7月7日(火) N041

地域から明るい未来を作ろう